

別記様式第八（甲）

許 可 申 請 書		番	号
		令和	年 月 日
国土交通省関東地方整備局長 様			
申請者 住 所			
ふりがな 氏 名			
別紙のとおり、河川法第 2 6 条第 1 項の許可を申請します。			

〔記載要領〕

1. 申請年月日

申請書を提出するときの年月日を記載すること。申請者が公共団体又は法人等であって文書番号による整理がなされているときは、文書番号を併記すること。

2. 申請者

- ① 住所 公共団体又は法人等についても「字〇〇番地」まで記載すること。
- ② 氏名 (イ) 公共団体又は法人等である場合は、その公共団体又は法人の名称及び代表者氏名を記載すること。
(ロ) 共同申請の場合は、共同申請人の氏名をすべて列記するのが原則であるが、「〇〇〇〇外〇〇名」、「代表者〇〇〇〇」と記載してもよい。この場合には、すべての共同申請者の住所及び氏名を記載した書面を添付するとともに委任状も添付すること。
(ハ) 法人等の出先機関が、当該出先機関名で申請する場合は、申請する権限を有することを証する書面を添付すること。

3. その他

- ① 規則第 3 9 条（許可の同時申請）の規定により許可の申請を同時に行うときには、「第〇条」の箇所に根拠条文をすべて記載すること。
- ② 法第 9 5 条の規定による国の特例の場合についても様式甲を準用する。
この場合「許可申請書」を「協議書」とし、協議文は、「別紙のとおり河川法第〇条の許可について同法第 9 5 条の規定により協議します」と記載すること。

(乙の4)

(工作物の新築、改築、除却)

1. 河川の名称
2. 目的
3. 場所
4. 工作物の名称又は種類
5. 工作物の構造又は能力
6. 工事の実施方法
7. 工期
8. 占用面積
9. 占用の期間

[記載要領]

1. 「(工作物の新築、改築、除却)」の箇所には、該当するものに○印を記載すること。
2. 河川の名称
水系名、河川名、左右岸の別を明記すること。
3. 目的
法第26条の許可に係る行為の目的を「○○橋(県道)架設のため」「○○排水樋管設置のため」等のように記載すること。
4. 場所
 - ① 「字○○○番地先」まで明記すること。
 - ② 河川保全区域内に工作物が及ぶものについては、河川区域内と河川保全区域内とに分けて記載すること。
 - ③ 当該工作物の敷地が数個の「字」にわたる場合は、原則としてそのすべてを記載し、数個の地番にわたる場合に「字」毎に代表的なものを明記すること。
5. 工作物の名称又は種類
主要な工作物の名称又は種類を明記すること。
6. 工作物の構造又は能力
主要な工作物についての構造又は能力を記載すること。
7. 工事の実施方法
工事の実施にあたっての治水上の措置、仮排水路及び工事にあたっての仮設物の措置並びに施工の順序等について工事工程表に照応するよう具体的に記載すること。
8. 工期
特別の事情のない限り工期の変更を申請することのないように工事工程表を適確に作成し、これにより工期を決定して記載すること。
9. 変更許可申請の場合
変更しない部分についても記載し、かつ、変更する事項については変更前のものを赤色で併記すること。